

# 夏休みに福島のこども達を迎えて

## —2017 夏プロの報告

藤沢2区 小野 精司

去る7月28～31日、福島県原発被災地のこども達と保護者の方々30名を湘南・藤沢へ招き保養して頂きました(14回目)。南相馬市から16名、川俣町から14名(内訳:保育園児3、小学生14、中学生7、保護者6。男性10名、女性20名)です。

初日は、福島県を8時に出発し藤沢へ14時30分に到着。宿舎の日本大学の生物資源科学部(六会日大駅前)の農場研修センターで休憩後、日大博物館を見学。1階で色々な動物の剥製と

骨格標本、3階でモース来日140年記念企画展「モースと相模湾の生き物」。モースは「大森貝塚の発見者」として有名ですが、本来は江の島のシャミセンガイ採集が目的と説明され、驚いていました。隣室でミツバチの動きを見、多数の蝶の標本にも感激。本館1階へ移動して歓迎夕食会に参加。藤沢教会の台所で調理された料理が喜ばれました。アトラクションは湘南高生4名のジャグリング、学校教師のギター演奏、神童太鼓(幼児から大人まで18名)。会場の参加者も演奏に合わせて踊ったり、太鼓打ちを体験したり、和やかで賑やかな雰囲気誘われて、ベトナム人のシスター達ら3名も参加。